まぎらわしい単語 (3)

品詞・用法の識別

●「……らしい」

・**推定の助動詞**…「どうやら～」を補える。
（例）彼は　先生　の　子ども　らしい。

・**形容詞の一部（接尾語）**…「いかにも～」を補える。
（例）彼　は　子どもらしい　性格　だ。
※「子どもらしい」という形容詞の一部。

●助詞「の」

・**連体修飾語を表す格助詞**…前後が名詞である。
（例）私の本。

・**主語を表す格助詞**…「が」に言い換えられる。
（例）雪の降る日。　→　雪が降る日。

・**体言の代用として使われる格助詞**
…「～のもの・こと」に言い換えられる。
（例）これは私のだ。　→　これは私のものだ。

・**終助詞**
（例）いつ終わるの。

●助詞「と」

・**格助詞**……主に体言に付く。
（例）友達と話す。（相手）　山と川（列挙）
「いいえ。」と答える。（引用）

・**接続助詞**…主に用言や助動詞に付く。
（例）春になると、花が咲く。（条件）

●助詞「から」

・**格助詞**……主に体言に付く。
（例）学校から帰る。（起点）　小麦から作る。（原料）
疲れから体調をくずす。（原因・理由）

・**接続助詞**…主に用言や助動詞に付く。
（例）暑いから休む。（原因・理由）
※「だから」に言い換えられる。

●助動詞「れる・られる」

・**受け身**…「～に…される」と言い換えられる。
（例）名前を呼ばれる。

・**可能**……「～することができる」と言い換えられる。
（例）早く起きられる。

・**尊敬**……接続する動詞が、尊敬の対象となる人物の動作である。
（例）先生が話される。

・**自発**……「自然と」を補える。前に心情を表す語がある。
（例）彼のことが案じられる。

●助動詞「そうだ」

・**様態・推定**…動詞の連用形や形容詞・形容動詞の語幹に付く。
（例）雪が降りそうだ。

・**伝聞**………用言の終止形に付く。
（例）雪が降るそうだ。

確認テスト

(1) 次の――線部は何か。それぞれ選びなさい。

① 次の発表者は彼らしい。〔　〕

② 彼らしい発表だった。〔　〕

ア 推定の助動詞　**イ** 形容詞の一部

(2) 次の――線部の助詞の働きを、それぞれ**ア**～**ウ**から選びなさい。

① 桜の咲く季節が来た。〔　〕

② これは誰のですか。〔　〕

③ 先生の本を借りる。〔　〕

ア 連体修飾語を表す。　**イ** 主語を表す。

ウ 「～もの・こと」という意味を表す。

(3) 次の中から、――線部が接続助詞であるものを選びなさい。〔　〕

ア 昨日、友達と会った。　**イ** 妹と弟が遊んでいる。

ウ 「おや。」とつぶやく。　**エ** まっすぐ行くと駅がある。

(4) 次の中から、――線部が接続助詞であるものを選びなさい。〔　〕

ア 終わったから帰ろう。　**イ** 教室から出てきた。

ウ 姉からもらった本。　**エ** 古紙からつくられた製品。

(5) 次の――線部の意味を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 昔のことがしのばれた。〔　〕

② 先生から声をかけられた。〔　〕

③ 私はぐっすり寝られた。〔　〕

④ 家にお客様が来られた。〔　〕

ア 受け身　**イ** 可能　**ウ** 尊敬　**エ** 自発

(6) 次の――線部の意味をそれぞれ選びなさい。

① 外は風が強そうだ。〔　〕

② 外は風が強いそうだ。〔　〕

ア 様態・推定　**イ** 伝聞